



つものちよう

第43号

議会だより



三嶋神社大祭（厳かに浦安の舞）

9月定例会

平成27年11月1日発行

主な紙面

発行 高知県津野町議会
☎(0889)55-2038
編集 議会だより発行調査特別委員会
発行責任者 議長 大崎公孝
印刷 笹岡印刷所

2,800万円を減額（補正予算）…………… 2P

決算を認定（平成26年度各会計）…………… 6P～7P

町政を問う（4人が一般質問）…………… 8～15P

道整備交付金
社会資本整備
交付金等

2,800万円を減額

総額65億7,700万円

9月定例会は、11日から18日までの8日間開かれ、健全化判断比率や専決処分の報告が4件、平成27年度の一般会計補正予算をはじめ議案11件、諮問1件を可決。平成26年度各会計決算6件を認定した。

一般質問には、4人が立ち、奥四万十博覧会、災害対策、在宅医療・福祉施策、地方創生等について執行部をただした。

27年度補正予算

一般会計補正予算(第3号)

道整備交付金、社会資本整備交付金の内示決定により、工事請負費1億2,493万5千円減額、がけくずれ住家防災対策事業2千万円、災害復旧費6千万円増額等、歳入歳出2,800万円を減額し、歳入歳出の総額を65億7,700万円とする。

可決(全員一致)

国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

直営診療施設勘定49万3千円増額し歳入歳出の総額を1億5千137万8千円とする。

可決(全員一致)

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

平成26年度の介護給付費確定に伴い895万2千円を増額し、歳入歳出の総額を7億7千356万7千円とする。

可決(全員一致)

条例の制定・改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、個人番号の利用範囲等に関し定めるもの。

可決(全員一致)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき、関係条例の整備をするもの。

可決(全員一致)

葉山中学校区スクールバス使用料徴収条例の一部改正

中土佐町が公共交通再編のため、10月1日から町営コミュニティバスの運行を計画しており、高南観光バス(船戸・大野見間)の休止が決定したため、その代替措置として下桑ヶ市地区から岩土地区までの町民等を新田まで津野町スクールバスに混乗させ旅客輸送するため、料金を設定するもの。

可決(全員一致)

その他の議案

辺地に係る総合整備計画の策定

「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、財政上有利な辺地対策事業債の借入を可能とし、公共的施設の整備を図るため、床鍋地区と郷地区において辺地総合整備計画を策定するもの。

可決(全員一致)

津野町過疎地域自立促進整備計画の変更

「過疎地域自立促進特別措置法」第6条第7項において準用する同条第1項の規定により計画を変更するもの。

可決(全員一致)

平成27年度大野統合簡易水道(西黒川)施設整備工事請負契約の締結

契約金額

1億4千126万4千円

請負者 (有)西起組

可決 (全員一致)

▼平成27年度町道本村線道路改良工事請負契約の締結

契約の方法 指名競争入札

契約金額 7千344万円

請負者 (有)中山工業

可決 (全員一致)

▼平成26年度林道柿の木谷線災害復旧工事請負契約の変更契約締結

変更前 6千134万4千円

変更後 7千114万3千920円

請負者 (有)稲田建設

可決 (全員一致)

委員の推薦

人権擁護委員

大崎順子氏 (新任)

津野町栗ノ木

昭和30年生



臨時議会

平成27年8月4日第5回臨時会

▼財産の取得について

西地区の塵芥収集車を購入するもの。

可決 (全員一致)



町民体育大会応援大賞7区の皆さん

議会を傍聴してみませんか。

定例会は年4回です

3月・12月 (本庁舎議場)

6月・9月 (西庁舎議場)

たくさんの傍聴をお待ちしています

町長 行政報告



池田町長

昨年の夏は台風11・12号の影響で合併以来最大規模の災害が発生したが、幸い今年は被害もなく安堵している。

自主防災組織の充実

去る8月30日に計画していた総合防災訓練は悪天候のため中止した。役場職員に対する緊急招集メールの配信による情報伝達訓練は実施した。

平成26年度決算状況

実質公債比率マイナス3.5%と、昨年度に引き続き健

全な財政状況である。

災害発生時に備えた協定

避難所に郵便物が届くように「被災者の同意があれば町または郵便局が知り得た住民情報を提供し合う協定」を郵便局と締結した。災害時等における応急対策活動に関する協定を町内水道事業者と締結した。

地区座談会

地方創生津野町まち・ひと・仕事創生総合戦略のテーマで開催した。若者の働き場の確保、農林業の担い手の育成、所得の向上支援に関する事などの意見・要望をいただいた。

地域路線バスの再編

高陵交通(株)が運行している路線収支が赤字となり、10月から杉の川須崎線4往復全便の廃止方針が示されている。交通弱者にとって必要不可欠な交通機関であり県や関係市町と協議を進める事としている。

地域づくり活動

郷地区・白石地区・船戸地区においては、地区内外の交流事業が成果を上げている。

郷地区集落活動センター

国道439号郷工区が完了した。郷地区集落活動センター開所式が行われた。更なる地域の活性化を期待する。

奥四万十博

7月10日津野町奥四万十博実行委員会を組織し飲食部・地域イベント部・宿泊施設部・活性化部・伝統文化部の各団体組織ができた。各部会提案の調整・協議を進めていく。

観光地へのアクセス道

四万十川源流アクセス道路251号線の工事が完了。林道東津野城川線の復旧工事も10月には完成する。

学力向上対策

学習支援員3名と特別支援教育の支援員8名を町内小中学校に派遣し学習支援



復旧した林道東津野城川線

9月定例会（西庁舎）



の充実に取り組んでいる。サマースクールは7月21日から8月28日の間小中学校で10日間程度実施。今年度は高知県立大学の学生延べ76人に協力いただき学習指導の充実に図った。

児童・生徒の研修

高幡海外研修事業でオーストラリアに7月22日から8月11日まで葉山中学校から3名が参加。外国の文化や人との触れ合いの中から語学や異文化の研修を受けた。今年で8年目を迎える訓子府町との小学校交換留学には葉山小学校から2名、精華小学校から1名の6年生が参加し8月19日から26日までの間ホームステイを行った。

全国学力テストの状況

小学校の国語A問題は高知県平均より低いもの、全国平均よりは高く、国語B及び算数Aでは高知県及び全国平均より高い。算数B理科においては高知県及び全国平均とほぼ同数の位置となっている。中学校の国

語A・B問題については、高知県平均より高いもの、全国平均よりやや低い位置にある。国語Bでは高知県及び全国平均より低い位置となっている。理科については、高知県平均より高いものの全国平均より低い位置となっている。学力テス

トの結果については、細かな分析を行い個に応じた学習支援を行い授業改善に努める。算数と数学については高知県中部教育事務所の講師を招き、教職員に対する夏季学習会を開催し課題改善に向けて指導助言をいただいた。

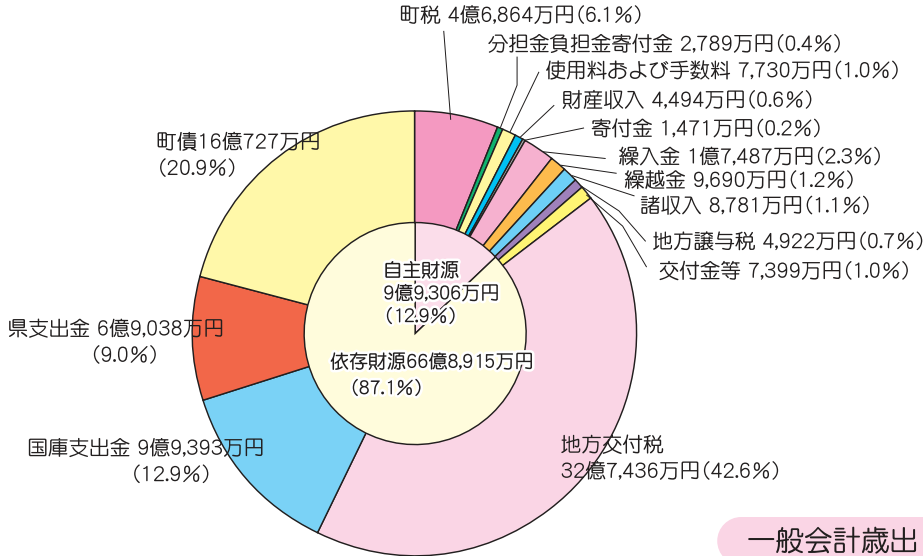


平成26年度一般会計・各特別会計決算を認定

一般
会計

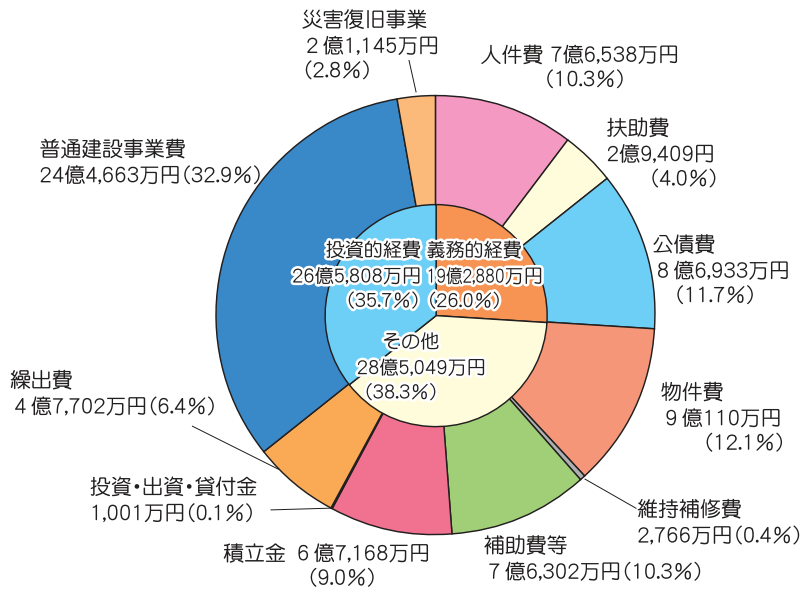
町債（借金）現在高67億4,755万円（対前年7億9,192万円増）
基金（貯金）現在高70億2,485万円（対前年7億7,725万円増）

一般会計歳入 76億8,221万円



平成27年9月定例会で、総務常任委員会に付託された平成26年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。

一般会計歳出 74億3,737万円



①歳入歳出の状況
平成26年度一般会計歳入決算額は、前年比18・7%増の76億8千221万3千円、歳出決算額は、前年比19・2%増の74億3千737万2千円で歳入歳出差引額は2億

4千484万1千円となっている。実質収支額は、1億7千909万7千円であり、この内1億4千900万円を基金積立している。歳入歳出とも前年度より大幅に増加している。過去最大規模となっている。

会計別の決算額 単位：万円（端数切捨て）

合計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	76億8,221	74億3,737	2億4,484
特別会計			
国民健康保険事業勘定	9億43	8億8,193	1,850
直営診療施設勘定	1億4,934	1億4,451	483
介護保険事業	7億4,178	7億2,461	1,717
簡易水道事業	1億6,168	1億6,168	0
生活環境施設整備	7,484	7,458	26
後期高齢者医療	8,816	8,730	86
合計	97億9,844	95億1,198	2億8,646

②財産の管理について

監査委員から物品の台帳と現物の照合について指摘があつている。

③債権の状況

須崎地区森林組合への貸付額1千900万円に対し、平成26年度返済額190万円、決算年度末残高は0円である。学資貸付金は平成26年度貸付金852万円、返済額は589万5千円で、決算年度末現在額は5千62万円である。貸付金は100%徴収されている。

④基金の状況

基金（基準日平成27年3月31日）は、9億5千431万円積立し、1億7千705万2千円取崩し、決算年度末の残高は、70億2千485万6千円で平成26年度末に比べ7億7千256万8千円増加している。

⑤地方債の状況

平成26年度発行額は、16億726万6千円で償還金は8億1千534万7千円（繰上償還含む）である。決算年度末残高は、67億4千755万5千円で平成25年度末に比べ7億9千191万

9千円増加している。

⑥収入未済額の状況

収入未済額は、町税2千558万3千205円、養護老人ホーム入所負担金82万3千100円、保育料・幼稚園授業料等8万6千950円、教員住宅使用料28万500円、学校給食費65万8千420円の合計2千747万575円で平成25年度末より281万7千79円減少している。

特別会計

国民健康保険事業特別会計

平成26年度末、加入世帯数は1千78世帯で総世帯数に占める割合は39.6%となつている。被保険者数は1千743人で総人口に占める割合は28.0%である。医療費一人当たりの平均額は32万4千159円で増加傾向にある。国保税に対する徴収率は91.48%でその内訳は現年課税分96.25%、滞納繰越分43.65%となつている。

直営診療施設勘定特別会計

受診者数は、姫野々診療所で延べ1万2千36人、杉ノ川診療所で延べ7千464人、合計で延べ1万9千500人と毎年減少傾向が続いている。

簡易水道事業特別会計

使用料について68万9千929円の未収金がある。

生活環境施設整備特別会計

本年度の浄化槽設置基数は28基で減少傾向にある。使用料で40万7千340円の未収金がある。

介護保険事業特別会計

保険料について501万1千75円の未収金がある。

後期高齢者医療特別会計

歳出の主な内訳は、総務費36万4千523円、後期高齢者医療広域連合納付金8千665万3千515円である。

財政健全化判断比率基準値を下回り「健全」

平成26年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△3.5%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

経営健全化判断

会計名	資金不足率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

●標準財政規模

補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。26年度は37億3千38万6千円。

●実質赤字比率

普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合

●連結実質赤字比率

町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合

●実質公債比率

町の標準財政規模に占める借金返済額の割合

●将来負担比率

町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率



大崎 芳章

一般質問

問 3棟目のステップ住宅は精華小学校の校区へ
答 空き家対策を含めて検討する

大崎

すでにステップ住宅は姫野々に2棟建てられている。3棟目は複式学級解消のため精華小校区に建築を。

池田町長

若者定住対策として住宅や分譲団地の整備は必要だが、同時に空き家対策にも取り組んでいる。精華小校区でも複数の貸し出し可能な空き家がある。より効果的な対策を講じ、未利用の公共用地の活用の中で若者定住を検討していく。

問 プレミアム付き商品券の課題や今後は

答 一定の地域経済効果がある



大崎

津野町のプレミアム付き商品券が7月1日に販売開始され、わずか3週間で完売した。課題や追加販売の予定はあるか。また、イベントの賞金・賞品などを町内共通の商品券にしては。

池田町長

地方創生の先行型で国の26年度補正予算の事業として全国の市町村で販売された。町民に限定をせず延べ

1千919人が購入。予想以上に早く21日に完売した。

今年末までに8千750万円分の商品券が完了すること。一定の地域経済効果があり、津野町には良い事業であった。

国の財源にプラスした追加の販売は考えていない。町内共通の商品券は発行に向けて商工会で検討している。

大崎

問 奥四万十博への取り組みは

答 6部会で協議を進めている

来年4月10日から12月25日まで奥四万十博が行われる。5市町全体と津野町の取り組みの現状と、旧村表示案内板や古い看板の撤去等をして迎え入れは、戸田産業建設課長

5市町全体では、企画運営・広報誘客・受け入れおもてなしの3部会で協議中。10月からポスターやのぼり旗でPR、11月から各市町の広報誌に博覧会情報を掲載し意識高揚を図る。津野町では6部会で、体制づくり・体験メニュー・イベントなど協議検討中。池田町長

旧村表示の看板は順次書き直し・撤去中。大きな案内板は本年度予算で整備をしている。地区表示は統一化で検討中、必要性も含め議論して対処していく。

問 有料老人ホームの誘致は

答 地方は厳しいと判断

大崎 東京などの1都3県では10年後に後期高齢者が175万人増え、地方創生会議は地方移住が解決策と言っている。高知県も受け入れられる余地的ある県と言われているが、津野町に有料老人ホームを誘致してはどうか。

池田町長 6月に東京圏の高齢者の地方への移住が提言された。近隣の施設では定員300人に対して約3割が空所になっている。津野町は介護保険計画にもおせていないし地方の負担も見えていない。特に介護型の老人ホームは地方には厳しいものがあり、有料老人ホームの誘致は考えていない。

大崎

地元の方と、みどりの広場の活用について話しは進んでいるか。津野町歴史民俗資料館を分館方式でなくここに建ててはどうか。

問 みどりの広場の活用は

答 地元と話し合っている

池田町長

親子がふれあえる公園・ドッグラン・花木の植栽によるミニ公園などアイデアがあった。集客力・管理面、特に費用対効果の面で現在に至っている。歴史民俗資料館については文化財保護審議会等と議論を進めている。



川上教育長

3千点の資料を展示できる資料館が望ましいが、莫大な事業費がかかる上にそれに適した補助事業がない。2館の統合や東の資料館へまとめるなど、県の民俗資料館の専門員や文化財保護審議会委員等の意見を聞き、整備計画を進めていく。

問 林道復旧後の観光計画は

答 さまざまな催しで集客を



田中一孝

一般質問

田中

四国カルストへの林道が開通した。一年間のプランがあった。今後の観光・イベント計画は。

池田町長

四国カルストは山岳観光の一つだ。満天の星という素晴らしい夜空もある。その他に山野草等の観賞イベントなど様々な催しを行い集客につなげたい。

問 奥四万十博の具体的な動きは
答 6つの部会で検討

田中

奥四万十博ワークショップが開催されたが状況は。商工業者や事業者等に具体的な動きがでているか。

戸田産業建設課長

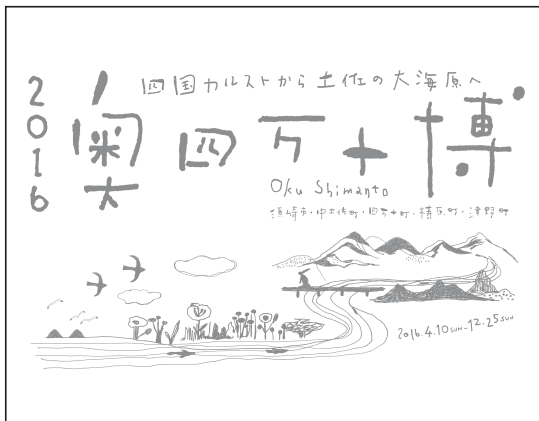
具体的な活動はないが、現在まで6つの部会①伝統文化②イベント③食④活性化委員会⑤宿泊施設⑥各種団体で検討をしている。それぞれ部会でイベント・おもてなし等の計画を進めている。

田中

町独自の観光政策は総合戦略に欠かせないが、5年・10年を見通した観光戦略を検討しているか。

池田町長

戦略づくりで観光振興は重要である。高幡5市町と連携し広域観光が始動するが、本町の魅力作りを「四国カルスト・清流・源流等の自然や食」でPRしたい。総合戦略を作成するにあたりしっかりと議論する。



問 災害時に国道の復旧は

答 県が最優先で対応

田中

南海地震発生時は、新土居の国道2か所(馬関・滝山)で大規模な土砂崩れが想定される。長期間国道が不通になるが対策は。

池田町長

地震発生時に国道の寸断が想定されるが、県の防災点検では須崎から西庁舎間の危険箇所は3カ所で、指定の場所は含まれない。国道災害が発生すれば、最優先で対応してもらえらる。



崩落が心配される国道197号(通称滝山付近)

問 福祉避難所の施設は

答 町内に4カ所を指定

田中

災害発生時に要援護者(高齢者・障害者等)の避難生活が支障なくできるか。また受け入れ可能人数は。

津野西庁住民福祉課長

福祉避難所は①役場西庁舎・福祉交流センター②総合保健福祉センター③葉山荘④高原荘を指定している。現在、要援護者の名簿作りや避難所運営マニュアルの作成を行っている。一次避難所の収容人数は3千人で、福祉避難所は187人を想定している。

問 スマホ等の機器を使った問題は

答 保護者の意識の高揚・啓発を検討

田中

スマホ・携帯等を使ったLINE上の犯罪が多発している。学校等で使用しての問題は無いが、また学校・保護者との情報の共有化や指導・周知は。

川上教育長

現在、小・中学校においてLINE等での問題の事例は無い。インターネットの安心安全な利用に向けた啓発や呼びかけを行っている。

池田町長

携帯電話等は現在欠かせないツールであるが、適正な利用について保護者や住民に対し情報提供しながら地域ぐるみで対応していきたい。

西森学校教育課長

小学校から中学校3年生までの携帯電話の所持率は27%ぐらいである。保護者に対して、スマホ・携帯等の安心・安全な使用について指導・周知を図りたい。



川上 智子

一般質問

問 保護者との連携を

答 積極的に取り組む

川上
教育の大切な土台となる保護者がまだまだ置き去りに感じる。教育長も保護者との連携を課題と捉え取り組むと答弁していたが、何をやっているのか。

川上教育長
指摘され反省・努力もしている。

改めて地域・家庭としっかり連携を組むよう積極的に取り組む。



問 学力向上対策室

の今後

答 公表できる段階にない

川上
今後の学力向上対策室のあり方は。

川上教育長
来年度の学力対策室の設置については、まだ公表できる段階ではない。

問 学校での取り組みは

答 今後検討する

川上
選挙年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が公布され、70年ぶりの制度改正で若者の政治参加の広がりに期待が高まっている。

教育現場での取り組みは。

西森学校教育課長
義務教育の学校現場においては教育の指導内容が変わる情報はない。今後は子ども達が政治や選挙に関心を持てるよう検討していく。



問 子育て支援の目玉は
答 教育である

川上

県内でいち早くさまざまな子育て支援に取り組んできた。現在はどの市町村でも同等の支援を行うようになってきている。池田町政の目玉となる子育て支援の今後

池田町長

今までは経済的支援を主体的に行ってきた。高知県立大学と連携した教育活動を更に向上させ、今後は地域と共に教育の向上が本町の子育て支援の魅力・特色になると考える。

問 奥四万十博への取り組みは

答 住民参加が不可欠

川上

四万十川上流域は全国でも有数の観光地域となる可能性を秘めている。奥四万十博を一過性のイベントに終わらせないためにも住民参加は不可欠である。そのため取り組みは。

池田町長

奥四万十博成功には多くの町民の関わりが重要である。「おもてなし」が非常に大きな成果に繋がる。さまざまな機会を通じしっかりとPRしていく。

川上

問 3千625人の目標設定をどう捉えるか
答 地域に見合った人口ビジョン作成を

池田町長

2060年には2千638人に減少すると推計される人口を3千625人に引き上げようという目標設定したがどう捉えるか。目標設定に対し政策をどのように作成し実施して検証するのを見極めが必要。地域に見合った人口ビジョン作成が重要と考える。

問 「地方版総合戦略」策定について
答 良い戦略づくりに努める

川上

都道府県及び市町村が平成27年度中に「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に努めることとなっている。策定にあたる考え

池田町長

全職員に意見を求め「地

域における雇用創出」「安全な暮らしと地域の連携」「人の流れをつくる」という3つのワーキンググループを作り議論し取り組んでいる。グループや有識者会議の意見を取り入れながら良い政策を作っていきたい。

問 訪問看護の在り方を探れ

答 先進事例を学び探っていく



西元和代

一般質問

西元

在宅生活には訪問看護の充実が求められる。県の動きを待つだけでなく、雲南市によるNPO訪問看護事業所立ち上げへの2千万円の委託や、神奈川を本拠地とした全国訪問ボランティアの会等視察・研究しては。

池田町長

事例について詳しく学び、津野町の訪問看護・介護の在り方を探っていく。

西元

養護老人ホームの定員割れ等を受け今後の在り方を協議中とのことだが、要介護1・2が介護保険対象外あるいは地域支援事業へ移管される等、2020年迄の骨太の方針が6月に閣議決定された。養護老人ホームの在り方だけでなく総合プランを見直すべきではないか。

池田町長

施設系の介護は人口の減少と共に需要も下がる等大きく変化している。津野町の養護老人ホームは広域の組合運営である。すぐに計画そのものの策定にはならないが安心して住み続けられる環境を考え構成団体と協議し方向性を見極めていく。

問 総合的な福祉施策の見直しを

答 関係団体と協議し見極める



津野山養護老人ホーム（高原荘）

問 重度訪問介護の基準を

答 国・県に基づいて対応

西元

利用基準がないと住民がサービスを知り得ない。重度訪問介護の明確な基準を定め、関係職員が共通の認識を持つべきではないか。また介護認定を受けた後、在宅生活を続ける上で必要な地域資源を掲載したパンフレットを作成しては。

津野住民福祉課長

重度訪問介護の基準は市町村で作ることができるが、今の段階では国・県の基準に基づいて対応していく。

池田町長

重度訪問介護も含め、そういったサポートが重要であるが包括支援センターを含めた現場の意見を聴きながら議論していく。

西元

周囲に迷惑をかけている空き家がある。実際はなかなか強制執行には至らないと思うが今後の対応は。

池田町長

強制執行は慎重に議論のうえ、かなりの基準を設けなければならぬ。まずは地域から情報を得て所有者の特定をし、補助事業を紹介しながら協力を求めていく。所有者の特定できない家屋については、今後、対策を検討する。

問 老朽化した空き家への対策は

答 まずは所有者の特定を



危険な空き家（本文とは関係ありません）

委員会活動報告

9月9日、産業建設常任委員会は、土佐グリーンパワー株式会社、高知おおとよ製材株式会社に関する調査を行った。

資本金：9千700万円
株主：銘建工業株式会社 5千600万円
高知県森林組合連合会 2千700万円
大豊町 1千200万円
高知県素材生産業協同組合連合会 200万円



高知グリーンパワー



高知おおとよ製材

1) 土佐グリーンパワー株式会社

○会社概要
設立日：平成25年1月23日
資本金等：2億5千万円
出資会社：とさでん交通株式会社 25%
高知県森林組合連合会 25%
出光興産株式会社 50%

○事業の意義・目的

- ① 未利用木材の有効利用による森林再生
長年、懸案になっていた林地残材・低資材を有効活用することで森林整備に貢献する。
- ② 木質バイオマス発電による環境への貢献
再生可能エネルギーによる発電事業でCO₂を削減し、地球環境に貢献する。
- ③ 雇用創出・地産地消による高知県の活性化
雇用の創出（伐採・運搬・破碎・発電計130人）
電力の地産地消により地域活性化に貢献する。

○発電所の特徴

- ① 高知県の未利用材100%専焼
- ② 破碎から発電までの日本初の一体型発電所
- ③ 周辺環境に配慮
- ④ 津波対策に配慮した発電所

○事業の目的

川上から川下に至る素材生産・流通・製材・販売等それぞれの分野の改革・効率化を支援し、その結果削減したコストの一部を森林所有者にも還元することで、地域の林業・木材産業の活性化を図る。

- ① 適正規模の機械の選定、効率的な作業工程を構築することで生産の向上を図り、製材加工コストを削減する。
- ② バイオマス活用によりコスト削減と環境にやさしい施設運営に努める。
- ③ 素材の供給協定締結等による安定的な取引と高品質な製品作りにより消費者ニーズに的確に対応することで、県産木材の市場価値を高める。

2) 高知おおとよ製材株式会社

○会社概要
設立日：平成24年1月24日

敷地面積：1万2千㎡
出力：発電6千250kW・送電5千650kW
年間送電量：約4千万kWh（約1万1千世帯分）
燃料使用量：未利用材7.8万トン/年
CO₂削減量：2万トン/年
従業員数：22人
（関連事業含め雇用創出見込約130人）

種別	原木消費量	製品	売上高	従業員数
25年度 (1シフト)	5万㎡	2万3千840㎡	10億円	32人 (内県内雇用24人)
26年度 (1.5シフト)	7万㎡	3万3千700㎡	14億円	53人 (内県内雇用43人)
27年度 (2シフト)	10万㎡	4万8千800㎡	21億円	60人 (内県内雇用55人)

補助事業：木材加工流通施設整備事業
(23億1千437万6千円)
企業立地施設整備事業
(4億3千247万7千円)

工場敷地面積：3万8千883㎡
建築面積：鉄骨平屋建1万717㎡（延床面積）
操業開始日：平成25年8月26日
製造品目：柱、平角、土台、間柱、ラミナ等（杉80%・松20%）
初期投資額：27億4千685万3千円（税抜）内70%補助金
製造、販売計画及び従業員数：

傍聴記

議会を傍聴していつも感じることは、議会が活発性に欠け新鮮味に欠ける点である。

地区民の代表として議員さんが地区の問題点、改善点、町の将来像等、いかに真剣に熱意と緊張感を持って発言しているのを見てみたいと傍聴しているが、いつも期待どおりではない。

毎回傍聴者が数名程度では議員の方々の意気も上がらないと思われる。

地区民にも議会に対する意識の向上が望まれるが、議員の方々にもマンネリ化、活性化に欠けると感じられるような議会ではなく、興味を持って傍聴出来、はっきりとわかる話し方でスピーディな運営を望みたい。

出来る限り傍聴に行っているが、議会には何となく入りづらい雰囲気があり、もっと気軽に立ち寄って傍聴出来る環境に出来ないものだろうか。来年は奥四万十博が予定されている。

この好機に、土佐の軽井沢と言われてきた環境・満天の星空・高原の風・新しく再建された虎太郎の生家や古式神楽、おいしいお茶等、津野町を大いにアピールして、他の地域に負けない奥四万十博となるよう議員の方々の活躍を期待している。

津野町北川
上岡和博

議会のうらさき

7月

- 25 〓 高原荘納涼祭
- 26 〓 津野消防団連合演習 (B & G・議員)
- 30 〓 議員勉強会 (西庁・天狗荘)

8月

- 4 〓 第5回津野町議会臨時会 (西庁・議員)
- 8 〓 葉山センダン杯小学生野球大会
- 10 〓 須崎署管内災害危険箇所及び孤立集落視察 (須崎市・議長)
- 15 〓 津野町夏まつり (西運動公園)
- 20 〓 議会広報研修 (高知市・委員)
- 23 〓 高陵消防連合演習 (B & G・議長)

9月

- 7 〓 議会運営委員会 (西庁・委員)

- 9 〓 産業建設常任委員会視察 (高知市・大豊町・委員)
- 11 〓 第6回津野町議会定例会 (西庁・議員)

- 12 〓 休会 (16日まで)
- 12 〓 高陵消防連合会発足65周年記念式典 (須崎市・議長)

- 13 〓 高原荘敬老の日祝賀会
- 13 〓 葉山中学校・東津野中学校体育祭
- 14 〓 平成26年度決算連合審査会 (西庁・議員)
- 14 〓 総務常任委員会 (西庁・議員)
- 17 〓 一般質問 (西庁・議員)
- 17 〓 津野町矯正施設等誘致調査特別委員会 (西庁・委員)
- 18 〓 議案審議、閉会 (西庁・委員)
- 18 〓 全員協議会 (西庁・議員)
- 25 〓 高幡東部清掃組合議会定例会 (中土佐町・議員)
- 26 〓 さくらんぼ園運動会 (高知市・議長外)
- 26 〓 ゆすはらグルメまつり・第29回土佐牛まるかじり大会 (梶原町・議長)

10月

- 27 〓 精華小学校・葉山小学校運動会
- 28 〓 四国四県町村長・議長大会 (香川県・議長)
- 3 〓 にじいろ園運動会
- 4 〓 加来耕三氏歴史講演会
- 5 〓 産業祭実行委員会 (西庁)
- 10 〓 全国地域安全運動イベント (商工会本所・委員)
- 11 〓 町民体育大会 (須崎市・議長)
- 14 〓 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 16 〓 高幡議長会親善体育大会 (佐川町)
- 17 〓 第7回棚田キヤンドルまつり
- 18 〓 大阪高知県人会・親睦交流会 (大阪市・議長)
- 21 〓 議会だより発行調査特別委員会 (本庁・委員)
- 23 〓 四国地区町村議会議長会研修会 (徳島県・議長)
- 28 〓 トップセミナー (高知市・議長外)
- 30 〓 全員協議会 (本庁・議員)
- 31 〓 県選出国会議員と町村長・町村議会議長との意見交換会 (高知市・議長)

食べて寝る。
少しはダイエット
しなければね！



(わが家のペット紹介)

今回は、北川
大崎芳章さんの愛猫です。

- ・住所 北川
- ・名前 左後 モモ
左前 リク
右後 チャチャ
右前 ミイ
後、箱入り娘の
チャムがいます。
- ・生年月日 全部が捨て猫で、
家内が拾ってきたので解りませ
ん。
- ・猫種 不明
- ・飼い主さんから一言
それぞれの子供（猫とは言
いません）は性格が違います。
話題は子供たちの事ばかり。
元気で長生きしてね。



高知県立大生が町民体育大会に参加

津野町議会だより発行調査 特別委員会

委員長 西元和代
副委員長 大崎芳章
委員 中越一俊
委員 西森盛幸
委員 田中一孝
委員 松尾信壽

編集後記

日本の四季ほど美しいものはない。秋になれば空が真っ青に染まり、その中を様々な形をした雲たちがゆったりと流れる。寝そべっては、しばらく雲の流れを追う。しばし自分の空間だ……
まもなく、四国カルストの山並みからは、紅葉が下界へと降りてくる。寂しくなるな、
いつもそう思うのは自分だけなのか。
さて、安倍3次内閣がスタートした。3本の矢（GDP 600兆円、出生率 1.8%、介護離職者ゼロ）途轍もない大きな目標だ。単なる目標になる事のないように、しっかりと政策を進めて頂きたいものだ。
朝晩の寒暖の差が厳しくなり、肌を刺すような冷気も感じるようになります。風邪など、召しませぬよう気を付けてください。

（文責・中越一俊）

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

津野町役場議会事務局

議会だよりは、環境配慮型の再生紙を使用しています。